

科目名	総合演習講義						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	堀内尊功、上村一則、岡田広一郎、大村彩、花水倫尚、三角徳之、田辺英彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	大卒程度の公務員試験の過去問題を使用し、実際の試験と同じ形式で受験することで、公務員試験筆記試験へ取り組む力を培う。 また、自己採点と合わせて、マークシートの機械採点を行い、今後の学習に向けての課題を見つける。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				過去の本試験問題を毎週解くことで、試験の形式に慣れ、試験時間内に問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去試験問題						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	本試験を使用した模擬形式の演習1			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2	本試験を使用した模擬形式の演習2			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	3	本試験を使用した模擬形式の演習3			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	4	本試験を使用した模擬形式の演習4			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	5	本試験を使用した模擬形式の演習5			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	6	本試験を使用した模擬形式の演習6			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	7	本試験を使用した模擬形式の演習7			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	8	本試験を使用した模擬形式の演習8			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	9	本試験を使用した模擬形式の演習9			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	10	本試験を使用した模擬形式の演習10			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	11	本試験を使用した模擬形式の演習11			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	12	本試験を使用した模擬形式の演習12			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	13	本試験を使用した模擬形式の演習13			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	14	本試験を使用した模擬形式の演習14			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	15	本試験を使用した模擬形式の演習15			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
評価方法	3月～6月の間、毎週実施する昼間模試の教養試験・専門試験の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試	○	◎				100%
履修上の注意	1回の演習が3コマに跨る。これを3月より実施する予定である。・使用する問題は過去に出題された本試験の問題である。・国家一般職、国税専門官、特別区、裁判所職員、警視庁、東京消防庁などである。						

科目名	自然科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	上村一則、大村 彩		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	自然科学において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業により問題への考え方・視点を培う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○						
	○						
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自然科学演習1			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2	自然科学演習2			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	3	自然科学演習3			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	4	自然科学演習4			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	5	自然科学演習5			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	6	自然科学演習6			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	7	自然科学演習7			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	8	自然科学演習8			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	9	自然科学演習9			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	10	自然科学演習10			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	11	自然科学演習11			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	12	自然科学演習12			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	13	自然科学演習13			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	14	自然科学演習14			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	15	自然科学演習15			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	16	自然科学演習16			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	17	自然科学演習17			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	18	自然科学演習18			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	19	自然科学演習19			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	20	自然科学演習20			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	21	自然科学演習21			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	22	自然科学演習22			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	23	自然科学演習23			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	24	自然科学演習24			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	25	自然科学演習25			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	26	自然科学演習26			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	27	自然科学演習27			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	28	自然科学演習28			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	29	自然科学演習29			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	30	自然科学演習30			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
評価方法	3月以降毎週実施する「昼間模試」の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、「自然科学演習講義」における各分野の配点比重は、物理:25%、化学:25%、地学:25%、生物:25%である。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試		○				100%
履修上の注意	・昼間模試とは過去の本試験問題についての模試形式による演習である。・過去の本試験問題として、国家一般職(大卒)、国税専門官、裁判所職員(一般職)、特別区等の直近5年分の問題を解く。・昼間模試の教養試験に含まれる、数学、物理、化学、地学、生物が自然科学の内容科目となる。						

科目名	社会科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	社会科学分野において、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問題演習に取り組み、その傾向を理解する。 10月～2月に学んだ知識を確認し、様々な問題に対応できる力を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	<input type="radio"/>	実習:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>	
学習目標 (到達目標)	高経 験者	目的 達成	運動 技能	態度 意欲	その他		
	<input type="radio"/>				目標		
	<input type="radio"/>				各本試験の過去の問題を解くことで、解答力を培う。		
	<input type="radio"/>				各本試験の過去の問題を分析し、その傾向を理解する。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ(担当講師作成のオリジナル授業レジュメ)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会科学演習1			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2	社会科学演習2			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	3	社会科学演習3			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	4	社会科学演習4			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	5	社会科学演習5			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	6	社会科学演習6			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	7	社会科学演習7			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	8	社会科学演習8			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	9	社会科学演習9			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	10	社会科学演習10			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	11	社会科学演習11			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	12	社会科学演習12			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	13	社会科学演習13			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	14	社会科学演習14			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	15	社会科学演習15			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	16	社会科学演習16			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	17	社会科学演習17			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	18	社会科学演習18			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	19	社会科学演習19			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	20	社会科学演習20			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	21	社会科学演習21			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	22	社会科学演習22			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	23	社会科学演習23			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	24	社会科学演習24			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	25	社会科学演習25			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	26	社会科学演習26			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	27	社会科学演習27			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	28	社会科学演習28			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	29	社会科学演習29			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	30	社会科学演習30			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	31	社会科学演習31			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	32	社会科学演習32			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	33	社会科学演習33			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	34	社会科学演習34			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	35	社会科学演習35			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	36	社会科学演習36			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	37	社会科学演習37			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	38	社会科学演習38			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	39	社会科学演習39			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	40	社会科学演習40			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	41	社会科学演習41			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	42	社会科学演習42			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	43	社会科学演習43			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	44	社会科学演習44			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	45	社会科学演習45			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
評価方法	3月～9月の間、毎週実施する屋間模試の社会科学分野の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
	屋間模試	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				100%
履修上の注意	屋間模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。・屋間模試とは過去の本試験問題についての模試形式による演習である。過去の木試験問題として、国家一般職(大卒)、国税専門官、裁判所職員(一般職)、特別区等の直近5年分の問題を解く。・屋間模試の教養試験に含まれる、政治、経済、社会、時事が社会科学の内容科目となる。						

科目名	人文科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 文夫		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	人文科学分野において、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問題演習に取り組み、10月～3月に学んだ知識を確認し、様々な問題に対応できる力を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					過去問題演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	人文科学演習1			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2	人文科学演習2			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	3	人文科学演習3			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	4	人文科学演習4			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	5	人文科学演習5			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	6	人文科学演習6			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	7	人文科学演習7			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	8	人文科学演習8			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	9	人文科学演習9			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	10	人文科学演習10			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	11	人文科学演習11			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	12	人文科学演習12			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	13	人文科学演習13			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	14	人文科学演習14			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	15	人文科学演習15			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	16	人文科学演習16			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	17	人文科学演習17			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	18	人文科学演習18			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	19	人文科学演習19			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	20	人文科学演習20			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	21	人文科学演習21			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	22	人文科学演習22			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	23	人文科学演習23			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	24	人文科学演習24			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	25	人文科学演習25			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	26	人文科学演習26			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	27	人文科学演習27			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	28	人文科学演習28			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	29	人文科学演習29			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	30	人文科学演習30			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
評価方法	4月～9月の間、毎週実施する昼間模試の人文科学分野の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試(毎週)	○	◎				100%
履修上の注意	昼間模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。・昼間模試とは過去の本試験問題についての模試形式による演習である。・過去の本試験問題として、国家一般職(大卒)、国税専門官、裁判所職員(一般職)、特別区等の直近5年分の問題を解く。・昼間模試の教養試験に含まれる、日本史、世界史、地理が人文科学の内容科目となる。						

科目名	法律系演習講義						
科目名(英)	Legal Exercise lecture						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	岡田広一郎、三角徳之、高取仙貴		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 過去の本試験について問題実践を行い、回答力を培う。 演習に対応した解説講義を受講することで、基本事項の理解の確認を行い、応用問題への対応力を培う。 						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各本試験の過去の問題を解くことで、解答力を培う。	
	○					各本試験の過去の問題を分析し、その傾向を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト・教材・参考図書は使用しない。 模試演習プリント(問題・解説)を配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	■憲法①・行政法①・民法① 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	2	■憲法②・行政法②・民法② 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	3	■憲法③・行政法③・民法③ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	4	■憲法④・行政法④・民法④ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	5	■憲法⑤・行政法⑤・民法⑤ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	6	■憲法⑥・行政法⑥・民法⑥ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	7	■憲法⑦・行政法⑦・民法⑦ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	8	■憲法⑧・行政法⑧・民法⑧ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	9	■憲法⑨・行政法⑨・民法⑨ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	10	■憲法⑩・行政法⑩・民法⑩ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	11	■憲法⑪・行政法⑪・民法⑪ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	12	■憲法⑫・行政法⑫・民法⑫ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	13	■憲法⑬・行政法⑬・民法⑬ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	14	■憲法⑭・行政法⑭・民法⑭ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	15	■憲法⑮・行政法⑮・民法⑮ 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
評価方法	3月以降毎週実施する「昼間模試」の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、配点の内訳は、憲法30%、行政法30%、民法40%とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試	○	◎				100%
履修上の注意	各回ごとに、本試験問題の演習を模試形式で行う。3コマ。 各回の試験問題に含まれる憲法、行政法、民法の問題を解く。						

科目名	行政系演習講義						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	行政系分野において、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問題演習に取り組む。 10月～3月に学んだ知識を確認し、様々な問題に対応できる力を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各本試験の過去の問題を解くことで、解答力を培う。	
	○					各本試験の過去の問題を分析し、その傾向を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	本試験過去問模試 問題(公表・公開分)・解説プリント(担当講師によるオリジナルプリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	行政系演習1			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2	行政系演習2			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	3	行政系演習3			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	4	行政系演習4			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	5	行政系演習5			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	6	行政系演習6			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	7	行政系演習7			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	8	行政系演習8			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	9	行政系演習9			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	10	行政系演習10			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	11	行政系演習11			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	12	行政系演習12			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	13	行政系演習13			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	14	行政系演習14			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	15	行政系演習15			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
評価方法	4月～9月の間、毎週実施する昼間模試の行政系分野の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試(毎週)	○	◎				100%
履修上の注意	昼間模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。・昼間模試とは過去の本試験問題についての模試形式による演習である。・過去の本試験問題として、国家一般職(大卒)、国税専門官、裁判所職員(一般職)、特別区等の直近5年分の問題を解く。・昼間模試の専門試験に含まれる、政治学、行政学、社会学、国際関係等が行政系科目となる。						

科目名	経済系演習講義						
科目名(英)	Lecture on Economics Seminar						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	堀内 尊功		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の本試験について問題実践を行い、解答力を培う。 ・演習に対応した解説講義を受講することで、基本事項の理解の確認を行い、応用問題への対応力を培う。 						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				各本試験の過去の問題を解くことで、解答力を培う。		
	○				各本試験の過去の問題を分析し、その傾向を理解する。		
テキスト・教材 参考図書	テキスト・教材・参考図書は使用しない。 模試演習プリント(問題・解説)を配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	■基礎演習①(ミクロ1~8) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	2	■基礎演習②(マクロ1~5) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	3	■基礎演習③(ミクロ9~13) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	4	■基礎演習④(マクロ6~9) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	5	■基礎演習⑤(特別区対策) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	6	■過去問演習①(特別1、国家1、地上1) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	7	■過去問演習②(特別2、国家2、地上2) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	8	■過去問演習③(特別3、国家3、地上3) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	9	■過去問演習④(特別4、国家4、地上4) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	10	■過去問演習⑤(裁判所事務官対策) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	11	■過去問演習⑥(国家5・6、地上5) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	12	■過去問演習⑦(国家7・8、地上6) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	13	■過去問演習⑧(国家9・10、地上7) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	14	■過去問演習⑧(国家11・12、地上8) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	15	■過去問演習⑧(国家13・14、地上9) 演習及び解説授業				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
評価方法	3月以降毎週実施する「昼間模試」の成績を基準・材料とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	昼間模試	○	◎				100%
履修上の注意	授業の性質上、1回につき2時間で実施する。昼間模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。・昼間模試とは過去の本試験問題についての模試形式による演習である。・過去の本試験問題として、国家一般職(大卒)、国税専門官、裁判所職員(一般職)、特別区等の直近5年分の問題を解く。・昼間模試の専門試験に含まれる、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学が経済系科目となる。						